

長い歴史の流れを包む大楠の森

①天神ノ森

西成区天神ノ森～岸里東界隈

樹齢600年を超える楠が鬱蒼と茂る「天神ノ森」。茶道中興の祖、千利休の師でもあった武野紹鷗(たけのじょうおう)が、この地に湧く泉水を愛して晩年に茶室を構えたことから「紹鷗の森」ともよばれる。周辺には太閤秀吉にまつわる史跡も多く、②の「天下茶屋跡」のほか、森の中に佇む天満宮には、淀殿懐妊時に秀吉が安産祈願に参詣したといわれる「子安石(こやすいし)」も祀られている。



太閤秀吉も愛でた名水自慢の茶屋跡

②天下茶屋跡

西成区岸里東2-10-9 見学自由



「天下茶屋」は大阪メトロや南海線の駅名として知られるが、もともと豊臣時代に茶店があったことが地名の由来。この地は大坂城から住吉大社や堺所への経路にあり、往來の途中に太閤秀吉がここで茶の湯を楽しんだという話に基づく。清泉は秀吉によって「恵水」と名付けられて賞賛された。現在は楠の大樹と土蔵、石碑が往時を偲んでいる。

2つの個性豊かな祭りが有名

③生根神社

西成区玉出西2-1-10 ☎06-6659-2821 参拝自由(社務所は8:00～17:00頃)

中風除け・ボケ封じにご利益があるとされる天神社。夏の「だいがく祭り」は7月24・25日、御神燈と鈴をたくさん棒に付けた「だいがく」を担ぎ、踊りや音頭を奉納するもの。古代、雨乞い祈願が叶った際の感謝の儀式が由来という。また冬至の「こつま南瓜祭り」では、1年間の無病息災を願って、一帯の特産品・こつま南瓜が参拝者にふるまわれる(初穂料800円)。



Facebookもチェック

市民共済のよんど担当者が、マップ片手に歩いてみました。詳細はフェイスブックにて!



元祖たこ焼は「すっぴん」で勝負!

④会津屋本店

西成区玉出西2-3-1 ☎06-6651-2311 10:00～20:00(19:45LO) 無休(元旦休)

昭和8年(1933)創業、たこ焼の発祥といわれる老舗の本店がこちら。ひと口サイズのだこ焼(12個500円)は和風だしの利いた生地に、タコの旨みが染みわたる。ゆえに、ソースを付けずそのまま味わうべし。タコの代わりに甘辛く煮込んだスジ肉入りの、たこ焼の前身「元祖ラヂオ焼」(12個600円)も名物。



境界ではレアな本格スパイスカレー

⑤カレー屋 薬味堂

西成区萩之茶屋2-2-10 ☎06-6641-9021 11:30～14:30(LO) / 17:00～売切れ次第終了 日曜休(変更予定あり)

萩之茶屋商店街の角地に面し、外装のペイントが一際目を引く。店主のお父さんが営んでいた眼鏡店を引き継ぎ、2014年にカレー店をオープン。メニューは、赤味噌でトロトロに煮込んだ牛スジ肉が主役のどてカレー600円、動物性食材を一切使わないベジカレー500円の2本立て。2つの味が楽しめる「あいがいけ」700円は、混ぜ合わせ食べてもおいしい。



関西最大級のスーパー銭湯。森の中の岩風呂や竹林に囲まれた浴槽など、風情ある露天風呂が大人気! 食事やリラクゼーション施設もあり

創業50年近く変わらない味のトンカツ

⑥とんかつ一番 天神ノ森店

西成区天神ノ森2-1-21 ☎06-6653-2734 11:00～14:30 / 17:00～20:15(LO) 木曜休

ボリュームたっぷりのトンカツメニューが大人気。サクッと歯ごたえも楽しいトンカツに、創業以来変わらない味のデミグラスソースをたっぷりからませれば、ご飯がどんどん進む。赤だしの豚汁にミニうどん、小鉢に刺身まで付くサブスランチ1,060円は、平日30食限定の超お得メニュー。個室や座敷もあり、夜は居酒屋使いもOK。



「大阪名所 じっくりMAP」

〈第17回〉

大阪を作った偉人たちの足跡をめぐる
—西成区～住之江区—



江戸時代の豪商の暮らしを今に伝える

⑦加賀屋緑地(加賀屋新田会所跡)

住之江区南加賀屋4-8-7 ☎06-6683-8151 入園無料 10:00～16:30(建物内の見学は～16:00) 月曜休(祝日の場合は翌日)、年末年始休

江戸時代中期の大和川付け替え工事の後、大坂の両替商・加賀屋基兵衛が開いた加賀屋新田。こちらはその管理所と、居宅を兼ねた屋敷跡。1500坪近い広大な敷地には、贅を尽くした邸宅に、簡素な中にも数寄を凝らした茶室、茶人でもあった基兵衛の美意識を体現するかのような日本庭園が保存されている。市内に唯一残る会所跡であり、大阪市指定史跡・大阪市指定有形文化財。



新田の無事・繁栄を祈って建てられた鎮守社

⑧高砂神社

住之江区北島3-14-12 ☎06-6681-5337 6:00～18:00(社務所は9:00～)

江戸時代の新田開発には、鎮守社の創建が付きもの。加賀屋基兵衛の開発による北島新田でも、元文2年(1737)の完成後に、基兵衛の出身地・河内国石川郡新堂村(現在の富田林市)の産土神(うぶすながみ)を勧請、当社を鎮座した。天保6年(1835)には住吉大神も奉斎される。現在も地元の信仰を集め、特に四季の祭りは多くの参拝者で賑わう。



暮らしを支える普段使いの商店街

⑩加賀屋商店街 住之江区中加賀屋2～3丁目

中加賀屋公園から住吉川手前まで、南北約500mにわたって延びるアーケード商店街。青果・鮮魚、雑貨や洋品、パン屋さんやスーパーに整骨院……と、あらゆるジャンルの店舗やサービス施設約90軒が軒を連ね、界隈に住む人々の暮らしを支えている。たこ焼、惣菜、お肉屋さんのコロッケや唐揚げなど、テイクアウトで食べ歩きを楽しむもよし。ラーメンや寿司をはじめ、地元以外にも注目される飲食店も点在する。季節ごとのイベントは、地域を巻き込んで大盛り上がり。特に毎年恒例の夏の夜店、ハロウィーンの仮装イベントなどは、近隣の子どもたちも大勢参加して賑わう。



⑪麺物語 つなぐ

住之江区中加賀屋2-1-15 ☎06-6684-0001 11:30～14:30(LO) / 18:00～21:00(LO) 火曜夜・水曜休

店主の寺岡さんは、生まれも育ちも加賀屋っ子。お世話になった商店街に恩返しを、と2017年に店をオープンした。無添加・無化学調味料を基本に、素材の味を活かしたラーメンは全4種。「今昔も中華そば」1750円は、丸鶏と魚介のWスープに、全粒粉入りの細麺がベストマッチ。店主の修業先だった静岡から仕入れる生シラスのミニ丼もおすすり。



手摘みヨモギの香り さわやかな名物大福

⑫梅月堂

住之江区中加賀屋3-8-2 ☎06-6685-7240 9:00～19:00 火曜休

昭和の時代から3代続く和菓子の老舗。昔ながらのレンビを受け継ぎ、生菓子やお餅、赤飯などすべて手作りで提供する。看板商品のよもぎ餅は、北海道産小豆に、店主自ら摘むというヨモギをたっぷり使い、緑の香り濃厚。餅米100%ならではのコシの強さもクセになる。そのままはもちろん、軽く炙って食べると香ばしさ倍増。2個280円。



※料金はすべて税込みとなります。